|  |
| --- |
| **タイトル（ゴシックボールド、１４ポイント）** |
| **―サブタイトル（あれば）―（ゴシックボールド、１２ポイント）** |
| ○氏名１）（発表者は頭に○をつける）、氏名２）、氏名３） （明朝体、10.5ポイント） |
| 所属：○○○会　○委員会１）２）、○○大学３） （明朝体、10.5ポイント） |
| キーワード：○○○○○、○○○○○（３～５つの関連用語を記載）（明朝体、10.5ポイント） |

基本事項

・特に必要がない場合は「である調」で作成すること。

（Introduction）

研究背景と研究目的とに分けて記載し、コンテクストの確立と、問題提起、研究・実践の位置付けを行う。

**［研究背景］**

発表する内容が求められる社会的・地域的背景や問題点を記載する。

**［研究目的］**

研究背景から求められる本研究（実践）の目的を記載する。

基本的に１つから３つ程度に整理する。

例）

『～の実践報告を目的とする』（実践報告系）

『～の検討（検証）を目的とする』（研究系）

**［研究方法］**（Methods）

研究に用いた方法、手法、ストラテジーについて記述する。

１．対象

性別、年齢帯（平均年齢）、どのような状態・状況の対象か、対象者複数の場合は人数も記載する。

２．調査・研究・実践期間

　調査・研究・実践を行った期間について明記する。

３．調査・研究・実践内容

　どのような点に焦点を当てて調査・研究・実践をしたかについて記載する。

４．分析方法

量的調査の場合は、そのデータソース、データ項目とその抽出方法、統計処理の方法を記載する。

　質的調査の場合は、その用いた手法や調査の内容を記載する。

　実践や事例の場合は、それらからどのように分析するのか、そのフレームワークになる考え方や、考察する際の着眼点を記載する。

５．倫理的配慮

下記事項の確認と、疑義を生じないよう記載する。

（１）自組織、自施設、所属への許可とその記載。

１）当該研究大会への発表許可を得ているか（発表すること、発表の内容）

２）許可したものの属性（役職）等

※大学や職能団体等に属している場合は、発表許可の前に、当該研究の実施に際し、倫理委員会等の承認を得ていることが前提となる。

（２）研究（調査）対象者への説明内容、許諾方法とその記載。

１）研究内容の説明とその方法

２）許諾方法

同意書を取り付けているか

同意取消の説明とその方法

３）個人特定を避けるための方法

ガイドラインを準用した場合は、その具体的な内容について記載する。

（３）関連機関への説明と同意、その記載。

１）関連機関への許諾要否の確認

２）統計データの提供を受けた場合は、その提供方法と内容について記載する。

**［結果］**（Results）

冒頭で提起した研究背景や研究目的に対応したものを厳選する。

　調査・実践の場合は、時系列に記載し、その得られた結果を記載する。

　量的研究の場合は、統計処理によって得られた分析結果を記載する。

　質的研究の場合は、その分析結果を記載する。

**［考察］**（Discussion）

研究等によって得られた結果が、どのような意味を持つのか、それはなぜかを論証し、提起した研究目的や仮説との間を結ぶ推論過程や論拠を記載する。

ここでは、当該研究から得られた事柄について述べるよう、心がけること。

それ以外について述べることを妨げるものではないが、それによって、当該研究の考察という関連が薄れることは望ましくない。

**［結論］**（Conclusion）

　結論は、適宜記載する。

（考察で終了してもよい）

結論は、研究結果から得られた事柄について述べるよう、心がける。

それ以外について述べることを妨げるものではないが、それによって、当該研究の結論という関連が薄れることは望ましくない。

**［引用文献・参考文献］**

引用の場合は、本文中の該当部分右肩に、全角片括弧アラビア数字を付し、文末に文献名等を掲載する。

例）～それを解消する方向に行動の変化を促していく面接技法１）である。

［引用文献］

１）原井宏明（2012）「方法としての動機づけ面接」岩崎学術出版社

参考文献・引用文献は、著者（訳者）、出版年「著書名」出版社、の順に記載。

出版年は西暦で記載、月は不要、著書名はカギカッコ内に記載

【本文書式】

・版型：Ａ４縦　２枚以内

・余白：天地左右25mm

・段組み：２段組み、段間３字

・字送り：１段20字40行

・フォント：

［本文（和文）］明朝体（正送り）

［タイトル］ゴシックボールド（正送り）

［英文］Century

・フォントサイズ：10.5ポイント

・和文中の算用数字、括弧、句読点は全角を使用

・英文中の算用数字、括弧、句読点は半角を使用

・本文の見出は、次の順；１，（１），１），①

・図表番号は“表－１”等とし図表の下中央に記載

・図表の参照は、本文中に“〔表－１〕”と記載